

もっと多様な意見に
真摯に耳を傾けるべきではないか。



阿部 則比古 議員

市長

後世に評価をいただく覚悟で市政に臨んでいるつもりだ。



■外ノ山(とのやま)国有林の現在の状況

**行政に卓抜した
方々の意見に
耳を傾けるべきだ**

質問 いかにか優秀で知識が豊富

で頭の切れる首長であつても、一人で持ちうる視野の狭さ、考えの浅さを真摯に考えるべきだ。これまでの議員個々に対するス

タンスも、市長の支持者を含め、行政に卓抜した知識を持つ方々

の政治的な関与を拒絶しているようにしか見えない。

こうした方々の優れた知識や

知恵、行政に対する考え方を英知として集約し、行政に反映さ

せて行くべきと思うが、なぜそ

れを否定する独断専行型の手法をとるのか。

答弁 議員は「首長は権力をも

つて議会を掌握することは当然

ではないか」と

言われるが「ブ

レーン政治はだ

めだ」と言う認

識ではなく、皆

様から公平に意

見を聞いている

と思つている。

議会との信頼関

係において理解

を求めるのは当

然だが、圧力め

いた意味合いの

ある「掌握」と

言う言葉で議会

と接するスタン

スではない。一言で言えば政治

スタンスの違いと言うしかない。

首長と議会は二元代表制の下、

別々の人格を有するもので、ど

ちらも選挙によって選ばれる。

お互いに切磋琢磨し、より良き

道を探り出すための優れた仕組

みと思う。

念でならない。

答弁 端的に言う議員と私の

大局観の違いだ。確かに、当時

そうした提案はいただいたが政

策立案の過程としては、当局案

として議会や市民に提案出来る

ものではない。

他の議員からの提案でも、市

としての必要性は理解できても

現状では実施不可能な事案が当

然ある。

統合庁舎の問題で、確かに迷

走・混乱した事は最高責任者と

しての私の責任だが経緯として

市民からの意見・市当局の考え・

議会の考え方が錯綜して意見集

約に至らなかった。

出来る限り市民の将来負担を

軽減して、効率的な行政運営の

基盤整備をしたいとの思いで、

庁舎整備に取り組んできたつも

りだ。その時点で理解をいただ

けなくとも後年、評価いただ

ればとの覚悟で市政に臨んでい

る。

散させる事になってしまつて残

全ての公的施設を無秩序に分

かつたと思う。

(八柳良太郎記)

放課後児童クラブに通う児童の安全確保対策を。



高久昭二 議員

市長 今後の方向性を協議していく。



■角館小学校放課後児童クラブに通う児童の集団移動



■「山鳩館」生きがい通所支援事業利用者

放課後児童クラブに通う児童の安全確保対策を

質問 角館小学校放課後児童クラブは角館児童館（旧保育園）で行われるため、児童は歩いて通っている。支援員が誘導しているが、通う距離が遠く危険箇所もあるので、安全確保のため市が全員のバス代を支給すべきでないか。

答弁 冬期間通うのに不慣れな

1年生のバス代を12月補正予算に計上した。2年生以上の児童については財政面もあり、今すぐにはと言えないが、今後の方向性を協議していく。

高齢者福祉の充実を図れ

質問 市内で一人暮らしの高齢者世帯が増加している。大仙市では試験的に遊休施設を活用して各地区に高齢者のための憩い

の場を設けている。仙北市でも認知症予防を含め高齢者の方々が集い、交流出来る高齢者憩いの家等の設置が必要でないか。

答弁 高齢者の方や子育てしている方々も利用できる小規模多機能施設の整備を検討している。高齢者の方々には現在稼働している上松木内「山鳩館」、神代「老松荘」、認知症カフェ、社会福祉協議会が運営している「ふれあいいきいきサロン」等を利用していただきたい。

司食品工業の進出 断念と工業用地の今後の活用は

質問 進出断念に係わる市の財政負担及び今後の対策は。

答弁 市は工業用地造成のため2億4194万円を支出している。司食品工業には法的な手段もありうると考えていたが、企業誘致を図るうえで係争事案を抱える土地のイメージが悪くなるとの判断で提訴を見送ることとした。

質問 工業用地の新たな企業進出の見通し及び新たな利活用はあるのか。

答弁 東京に本社を置く一部上場企業と工業用地への進出について話し合いが進んでおり、東京本社の訪問や2回の当該用地の視察を受け、今月13日に会社の代表が市を訪問する予定となっている。企業からの進出計画書の提出があり、進出が具体化するば議会や市民の皆様へ説明をする。現在における用地の利活用については、今年の田沢湖マラソンの際、駐車場として利用した。

（門脇民夫記）

仙北市としての地域融和と一体感の醸成が必要だ。

佐藤大成 議員

市長

現在までに醸成できなかった責任は私にある。

庁舎再編をどうするのか

質問 最近のマスコミ報道、庁舎建設関連の市当局の説明からは、仙北市における地域感情という言葉をよく聞くようになった。地域のわだかまりは、いまだ解消されず、根深いものがあるという記事も出ている。この問題を解消していくのは市政の重要な仕事である。現在までに地域融和、一体感を醸成出来なかった市長の責任はとても大きい。そう思わないか。

答弁 責任は私にあると思う。また、説明会などを実施しているが、地域融和を防いでいるのは、自分より上の世代の人達だと認識している。彼らがそのような地域感情をずっと持っている。仙北市はいつまでたっても変わらないとも感じている。**質問** 仙北市の自治体の特性を考えた場合、地域的な公共施設バランスを上手く取ることが、地域発展並びに仙北市としての一体感の醸成に大きく寄与することを確信している。具体的には、角館には病院、田沢湖に総合



■さらなる合宿誘致の強化を(角館武道館の早大合宿)



■地域の足としても期待される無人バス

無人バスの将来的な地域走行計画は

合宿誘致の強化に向けた状況は

体育館、西木に庁舎、神代に統合中学校という構想がふさわしいと思っている。美郷町では「合併して良かった」という住民の声を良く聞か地域バランスを考慮して町政を行った賜物だと思っ。今からでも遅くないので、地域バランスを取りながら、庁舎問題を進めていくべきでないか。

答弁 統合庁舎の建設が極めて困難な状況であるが、将来世代への負担軽減・産業の効率化等の観点から、新築する角館庁舎に機能集約する必要性を強く感じている。

質問 公道での無人バス自動走行実証実験後に「できれば東京オリンピック開催時まで、田沢湖一周の定期観光無人バスを実現したい」という市長発言は、具体的な実現計画を伴っているか。

答弁 メディアの前で、そのような発言を行った。創生特区の強みを活かし、内閣府・国土交通省と密に連携して、必ず実現させたいと考えている。

質問 以前合宿誘致の強化について一般質問したが、現在までの状況はどうか。また、カヌー合宿の誘致は進んだか。

答弁 平成28年度の目標数は達成し、補正予算対応を行っている状況である。カヌーに関しては、練習環境を整備して、呼び込みを図りたい。さらに連携協定を結んだ青山学院大学にも誘致活動を行う予定である。(田口寿宜記)

就学前教育の充実を図れ。



日本共産党 平岡裕子 議員

教育長 所管の違いはあっても、協力をしっかりやっていく。

就学前教育の充実を目指して

質問 仙北市の教育の冊子に幼児教育の充実と教育環境の整備とあるが、具体的な施策がないのは何故か。

答弁(教育長) 所管が子育て推進課に替わり幼稚園・保育園の部分を外した。

質問 市民福祉部子育て支援課による冊子「おおきくなあれ」では就学前の子どもの教育・保育として支援内容が記載されている。0歳から就学前までの保育・教育について、発達に見通しをもって支援をしていく教育

委員会の取り組みと大きくかわると理解するが、どのようにとらえているか。

答弁(教育長) 所管は違うが協力してやっていきたい。教育委員会会だより「きたうら」で、中学校の子どもの活躍を紹介しているが、来年度は、就学前の子どもたち、大曲支援学校せんぼく校の子どもの頑張りも掲載したいと考えている。

質問 子どもの健やかな成長に、検診は欠かせない。5歳の誕生日を迎えた頃にも検診が必要と思うがどうか。

答弁 支援が必要な子どもが増えている実態があり、支援員も増えている。早い時期に対応して小学校に送り出す体制が必要と考える。

答弁(米澤市民福祉部長)

小児科の医師の確保が難しいが、前向きに検討したい。

親の教育費負担軽減を

質問 就学援助制度の支給項目で拡充できるものはあるか。また、入学準備金支給を2月から3月に支給はできないか。

答弁 PTA会費、児童生徒会費である。入学準備金支給は、できるだけ早い時期に支給できるように検討したい。

質問 食品ロスやフードバンクが話題になっているが、食べ物に限らず、教材、体育着、制服なども考えられる。市内2校で実施のようであるが、全校に浸透できないか。

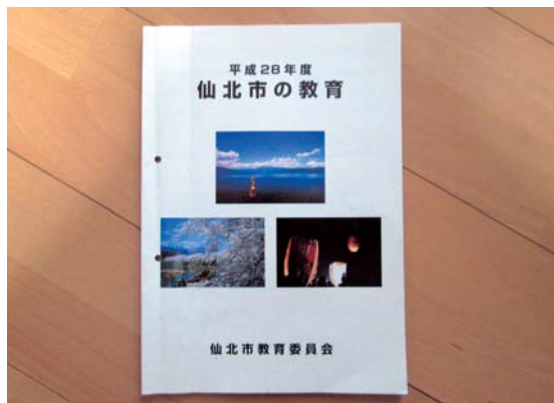
答弁(教育長) 連合PTAで取り組んでいる。市内全ての学校でできるよう働きかけていく。

医療費の無料化・予防接種事業の拡大を

質問 県の事業で中学校卒業まで医療費が無料となった。高校卒業まで拡大できないか。

答弁 高校生というとならえ方ではなく、年齢18歳と捉えたほうがいいのではないかと考えている。試算では1500万円ほど必要になる。

質問 インフルエンザ予防接種料金が就学前幼児まで助成され



■小さな市民も大事にしたい

答弁 平成29年度は小学生まで拡大を考えている。

農業が安定してこそ 展望は拓ける

質問 平成30年産米から直接支払い交付金が廃止となり、農家の不安は大きい。これまで培ってきた技術や作付けの拡大が継続できるようにする為の施策は。

答弁 ナラシ対策の継続や収入保険の創設もある。国の施策も不透明な部分が多い。情報獲得に努め、速やかにお知らせしていきたい。(伊藤邦彦記)

■健やかな育ちを願って活用を





小林幸悦 議員

「お祭り会館」建設構想を急げ。

市長

事業を進める予算を計上したい。

仙北市総合計画の見直しについて

質問 統合庁舎建設を断念した事により、総合計画の大きな見直しはあるのか。中でも、市民の大事な施設でありながら、今後も繰入金や負担金を要すると思われる次の三点について伺いたい。

- ①市立田沢湖病院の在り方
- ②院長不在の神代診療所の在り方
- ③内陸線存続の見直しは

答弁

①医療の地域格差は、あってはならない。引き続き堅持していくが、非常に厳しい経営状況である。
②今後は地方税の増加など見込めず、厳しい財政状況になるのは明らかであるが、地域の診療所として存続していく。
③現実的な対応として利用者を増やす以外存続の道はない。経営改善が見込まれない場合、代替手段が確保できるのであれば、別の対応を考えなければならぬ。



■きれいで清潔な整備が望まれる公衆トイレ

観光客の受け入れ体制について

質問 伝建群の両脇にある水路に足を踏み外し、怪我をされた観光客がいる。安全対策が必要と思うがどうか。
答弁 伝建群審議会等の方々と協議して、安全と景観を備えた方法を検討していく。
質問 角館を訪れる観光客から、気軽に休める場所やトイレが少ない、また、洋式トイレ

を増やしてもらいたいとの声がある。整備の必要があると思うがどうか。

答弁 景観等も含め、関係団体と協議をしながら検討し、実現に向けた取り組みを進めていく。

質問 市に寄贈されている「岡田家」の利用状況を伺いたい。

答弁 伝建群地内の修繕や庭園整備のための作業所及び道具の置き場所として利用している。また、弘道書院発掘に伴う膨大な資料の置き場所と、取りまとめを行っている。

質問 弘道書院復元に向けた計画について伺いたい。

答弁 復元検討委員会や関係団体と協議し、年次計画を立て、復元を進めていきたい。

質問 角館のお祭り行事がユネスコの無形文化遺産登録になり、国内外でも注目されることになる。「お祭り会館」建設構想を急ぐべきと考えるがどうか。

答弁 場所や施設規模等を検討し、今回の登録をチャンスととらえ、事業を進めるための関連予算を当初予算に計上したい。



■安全対策が求められる伝建群水路

小規模修繕等契約の上限額見直しについて

質問 同契約の上限額は現行30万円未満となっている。上限額引き上げを望む声が多く聞こえるがどうか。
答弁 登録は2年ごとの契約であり、現在期間半ばではあるが、29年度からは上限額を50万円未満としたい。

(佐藤大成記)



高橋 豪 議員

庁舎整備今後どうするのか。

市長

統合庁舎は断念し角館庁舎を移転改築する。

市役所庁舎整備を問う

質問 9月定例会で、統合庁舎整備の関連議案が否決された。市ではその後、角館庁舎の改築案を示しているが、統合庁舎は断念したのか確認する。

答弁 今後新たな提案をすることも、合併特例債発行の期限内に整備を終えることは困難を極める。こうした理由により統合庁舎整備を断念しなければ、

次のアクションが起こせないかと判断した。

質問 市では統合庁舎整備によって財政的負担の軽減や効率化を図らなければ将来ビジョンを描けないとしてきたが、それを断念するとしても、できる限りこれまで課題とされてきた事項を克服する視点に立つべきである。角館庁舎改築の基本的考えを伺う。

答弁 こうした状況になった以上、できる限り財政負担等を考慮し、よりベターな方策として角館庁舎改築案を提示した。

質問 市では提案の一つとして、角館庁舎を改築の上、そこに現在分散している事業部門を集約するという「A案」を示した。その根拠を伺う。

答弁 財政負担を軽減し、将来の施設整備費の抑制も図っていく必要があるため、新たな角館庁舎に可能な限りの事業部門を集約することが、最も理想的であることから「A案」を提案した。

質問 一方でこれと同時に、角館庁舎は建て替えるが、これまた通リ各部署を分散配置する「B案」も示されている。その根拠は何か。

答弁 統合庁舎否決の要因は、候補地への理解、または、地域の感情的な部分で集約に至らなかったことなどと分析している。「B案」は、各庁舎にこれまでの通りの部署を配置することで、地域の方々の安心感に配慮するという案である。ただし、この場合は財政面において及ばない。

質問 リーダーシップをもってやって頂きたい。A、B両案は互いに矛盾する提案と受け止める。特にB案は、単に分庁方式での

部署の配置換えではないのか。この内容で特例債は使用可能か。また、市ではこれらをもって「総合支所方式」としているが、これで総合支所方式と呼べるのか。また、新市建設計画はどのような変更するのか。

答弁 市が言う総合支所方式は、各庁舎に配置された部門以外の事も、各窓口で可能にすることである。配置換えではなく分庁舎方式の高度化と言え。新市建設計画の変更は検討中であるが、庁舎改築に特例債が使用できる内容にする。新たな仙北市役所としての位置付けを持つこととその適用を図りたい。

質問 A、Bの2案を最終的に

どのように決定するのか。
答弁 私としてはA案が良いと思っているが、議論を積み重ねて決定したい。2月定例会を目前に議会の同意を得たい。



■角館庁舎建設予定地(田町山)